

2014年度プレイリーダー講習会報告

日時 平成26年11月29日（土）、30日（日）2日間
 場所 もとまち地域センター、国分寺市プレイステーション、史跡公園
 主催 国分寺市教育委員会
 実施 国分寺市プレイステーション指定管理者「NPO 法人冒険遊び場の会」

実施プログラム

29日(土)		場所
9:00	受付	もとまち地域センター
9:30	オリエンテーション	
9:45	①講義 子どもと関わる大人のあり方について	
11:00	②実習 子どもと一緒に宝探しで遊ぼう (雨天の場合は室内で別メニュー)	史跡公園
12:15	昼食	もとまち地域センター
13:00	③実習 子ども会議を行ってみよう	もとまち地域センター
15:00	④ワークショップ 子どもとの関わりを振り返る 子どもと遊んだ時 子どもをフォローした時	もとまち地域センター
17:00	終了	
30日(日)		
10:00	⑤交流会「活動の中の悩みや課題について語ろう」	もとまち地域センター
昼食		
13:00	⑥エコストップをつくろう 調理してみよう	プレイステーション
16:00	⑦講座のまとめ	
16:30	修了証	

①講義 子どもと関わる大人のあり方について

子どもと遊ぶときは共感をもって遊び、子どもの意見を聞くときは、あくまで子ども主体にして大人が子どもをフォローする姿勢をとる必要がある。その違いや使い分けについて説明。

②実習 子どもと共に遊ぶ「自然の中で宝探し」

宝探しは数人のチームに分かれそれぞれ協力して、その道程に仕組まれた数々のミッションに挑んだ。シンプルな仕掛けであったが個性的な大人子どもが入り混じったチーム分けもまた功を奏し、大いに盛り上がった。雨が降ってきたため体育館に移動してエア・バレーを行ったが、最初はルールを掴めずに戸惑っていた子ども達も次々に巻き込まれ、終いには大人よりも躍動的であった。

③実習 子どもたちの意見を聞く「子ども会議」

子どもたちが遊びや遊び場について意見を述べたり、絵に描いたりと一生懸命参加してくれた。

特に理想の遊び場について絵に描く、と言う作業は年齢に関係なく多くの子どもが積極的だった。また絵の説明も多くの子どもが前に出て説明していた。特に印象的だったのは、理想の遊び場が欲しくても土地もお金もない国分寺市でどうしたらいいか、と聞いたとき、それまで以上に積極的な意見が次々と出てきたことだった。低学年は低学年なりに、一生懸命考え、高学年は大人並みの知識で、解決方法を提案していた。

④ふりかえり

遊びや子ども会議で、子どもと関わる大人として必要な役割がとれたかどうか、ふりかえった。遊びの場面では子どもと関わることはうまくできたが、子ども会議では自分の立ち位置がつかめなくて難しかった、という意見が多かった。知らない子どもたちを集めての子ども会議で、しかも遊び場建設や改修などの計画に向けての具体的な会議ではなかったために、大人としての関わりも難しいものになった。

ただ、子どもたちの意見が、低学年でも意外にしっかりしていること、そして高学年では大人と同じような発想もどんどん出てくるなど、子どもたちの能力の高さが印象に残った、という参加者が多かった。

⑤交流会

参加者が、それぞれの活動や子どもの遊びについて考えていることなどを出し合い、交流を深めた。具体的に今後の活動につながりそうな交流もあったように思う。

⑥エコストーブづくり

低燃費で煙が少なく環境に優しいエコストーブの知識、チームでの制作体験は、野外活動のみならず子どもの興味や創造性を引き延ばす技術にも大きく関与する。今回は3種のエコストーブ制作を、解説とマニュアルを参考にチームごとに創意工夫し、最後に講評という形でまとめた。終了後『実に有意義で貴重な体験だった』と多くの方から感想をいただいている。

4. 全体として

参加者の感想では、子ども会議がとても印象に残り、勉強になったという意見が多かった。難しい内容だったが得た物も大きかったようだった。これを機会に、子ども会議のノウハウが伝わり、子どもたちが意見を言える機会があちこちで広がっていく一助になれば、と思う

またエコストーブについては、やはり火力の強さや煙の少なさに感銘を受けたようで、作り方も意外に簡単なため、帰って早速作ってみるといった参加者もいた。遊び場で野外活動でうまく利用されていくと良いと思う。